



# 第 32 号 千 町 田

## (農)のきの郷の現状

代表理事 山本 耕一

並びに安全・安心な生産活動を求めて努力していると  
いう説明をしています。

現状として農業に従事す

7月の記録的な豪雨により西日本各地は甚大な被害を受けました。沢山の犠牲者と被災された方々に心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。その後は災害的な猛暑が続くなか台風が関東に上陸後日本列島を縦断し九州へと向かうという今まで記憶にないルートで移動しました。これは地球規模の異常気象としか言いようがありません。このように天候に左右される日本農業の将来はどうなるかと危惧するのは私だけでしょうか。

る組合員の高齢化が進むなか、労働力不足の解消や次世代の農業への担い手を確保し育成していくためには、魅力ある農業への取り組みと農業経営を発展させることが必要となります。また、地域の農業を次世代に引き継ぐために、経営基盤の更なる強化と生産性に優れた農業経営を求めていく必要があります。

同時期に工事を予定していましたが、工期の関係から先延べし今年度に着手したものです。事務所の移転拡充と将来の担い手としての雇用者の研修施設および3町一体で創設した能義第二地区環境保全組合の事務所として共用使用するというもので、木造平屋立て155㎡となります。また、機械格納庫の規模はプレハブ建屋160㎡です。平成22年設置のパイプハウス2棟が事業多角化等で導入した農業機械等で手狭となり、コンバイン、田植機等はメーカーに作業開始時期

まで保管してもらおうという状態を解消するために新設します。建設費用は双方合わせて、およそ4600万円(税込み)を予定しており、管理棟は農業経営基盤強化転貸、機械格納庫は農業近代化資金融資を受け、9年返済(1年据置8年返済)を計画しています。組合員の皆様には、のきの郷の拠点として『敷地内整備』することにご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、のきの郷が農事組合法人に移行して今年で6年目を迎えます。設立当初より県内外からの視察依頼があり都度対応しておりますが、当初の視察目的は圃場整備事業で島根県下初に採用された地下灌漑システム等についての視察が多かったのが、最近は農業法人に於いての経営多角化への取り組み等についてが多くなり、「未だ道半ばで」と念を押しながら地域の活性化と地域農業の発展を目指して経営の多角化と農作業の効率化、



管理棟は当初平成29年度末に完成したミニライスセンター野菜出荷調整棟と

その取り組みの一環で、施設整備として『管理棟新築工事』と『農業機械格納庫新築工事』を進めることとしました。工事はのきの郷直轄で分離発注とし、管理棟は大島工務所、格納庫はJA全農が請負いし12月末には完成する予定となります。

## 田んぼの様子



が計画されています。



8月中旬から収穫が始まりそつです。



記録的な猛暑が続いています。この暑さの中WCS(飼料用稲)の刈取り、ロール梱包作業を行いました。刈取りの終わった圃場には、そば、キャベツ、菜種、小麦の作付けが計画されています。刈取り作業が続きます。大豆は雨欲しそうですが、すくすく大きくなっています。ハウスでは今年もトマトを栽培しています。



# 第6回 きてごしない祭り

7月15日第6回きてごしない祭りを開催しました。夕方の開催だったのですがやはし暑かった！

開会宣言、組合長あいさつと続きオープニングで会場を温めたのち、大道芸人おれんじさんの大道芸を楽しみ、昨年同様カラオケ大会を行いました。当初エントリーの方

だけでなく、飛び入りでの参加もあり大変にぎやかでした。

その後、空くじなしの大抽選会では大きな物から小さな物までいろいろな物が景品となりました。この景品はJAおさいふカードポイントやヤンマーほうのう会ポイント、またのきの郷への頂き物を利用して準備しました。広く組合員の皆さんに還元できたと思います。

今年もたくさんの方にお出かけいただきありがとうございます。また、運営に協力してくださいましたスタッフの皆さんお疲れさまでした。



きてごしない祭りでお忘れ物がありました。心当たりの方はのきの郷事務所までご連絡をお願いいたします。  
かわいい帽子です



6月19日  
松江新庄地区圃場整備委員会  
圃場整備・フォアス視察

7月22日  
松江市西長江町  
圃場整備視察

ちよっこし聞いて



きてごしない祭りにはたくさんの方にご参加いただきました。ありがとうございます。ご意見、ご要望などありましたら今後の検討課題とします。今年のお気軽にお寄せください。  
今年の夏は本当に暑いですね。  
熱中症にかからないように水分、塩分の補給と体調管理には十分注意してください。(や)

